

年間授業計画

大泉桜 高等学校 令和8年度（1学年用） 教科 国語 科目 現代の国語

教科：国語 科目：現代の国語

単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 1組～5組

使用教科書：（改訂版 精選 現代の国語 第一学習社）

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 現代の国語 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			語 文	書	読					
1 学期	①自己と他者—考えを組み立てる具体例と筆者の主張との関係を捉え、読書や学問についての筆者の考えを自身に引きつけて考える。	①「何も知らない（私）」を知ること（永田和宏） 言語活動筆者の主張をふまえて、自分の考えを発表する 読みを広げる	○	○		知 語句の量を増やし、語彙を豊かにしている。 思 内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握している。 主 読書や勉強の意義について、筆者の主張を踏まえたり、ほかの人の考えを聞いたりすることで自分の考えを整理している。	○	○	○	6
	②言葉と文化 東西の対比関係を用いながら、日本の水文化に見られる特徴について論じる叙述の方法を把握する。	②水の東西（山崎正和） 言語活動水に関わる芸術や文化を調べ、その魅力を紹介しよう 読みを広げる		○		知 書き言葉の特徴を踏まえ、適切さなどに配慮した表現について理解し、活用している。 思 主張と論拠、個別と一般化、推論など、情報と情報との関係を理解している。 主 情報と情報を対比させながら展開する評論を粘り強く読み、学習課題に沿って論理の展開を分析しようとしている。		○	○	6
	③科学技術とメディア—情報を活用する AIと対比して説明されている人間の性質を捉え、科学技術の進歩と人間の役割について考察する。	③人工知能に未来を託せますか？（松田雄馬） 読みを広げる			○	知 文章の効果的な接続の仕方を理解している。 思 対比を用いた論の展開に注意して本文の内容・構成を捉え、学習課題に従ってまとめようとしている。 主 文章から主張と論拠を読み取り、表現の仕方を工夫して自分の考えをまとめようとしている。		○	○	6
	④根拠を示して主張する1 論理の型として、「主張と根拠」の関係を学ぶ。	④デザインの本意（原研哉） 主張と根拠	○	○	○	知 文章の効果的な接続の仕方を理解している。 思 主張と論拠、個別と一般化、推論など、情報と情報との関係を理解している。 主 論理の展開を粘り強く分析し、今までの学習を生かして要旨をまとめようとしている。		○	○	8
2 学期	⑤根拠を示して主張する2 論理の型として、「推論」の関係を学ぶ。	⑤コンピュータが作る俳句 推論	○	○	○	知 文章の効果的な接続の仕方を理解している。 思 主張と論拠、個別と一般化、推論など、情報と情報との関係を理解している。 主 反論を示すことによって自分の主張の正しさを伝えようとする評論を粘り強く読み、学習課題に沿って論理の展開を分析しようとしている。		○	○	6
	⑥身体と時間—主張を把握する 比喩や言い換えを用いた論の展開を把握し、理解した内容をわかりやすく説明する。	⑥〈鏡〉という現象—装いとは何か（鷲田清一） 読みを広げる	○	○	○	知 常用漢字を文や文章の中で活用している。 思 比喩や言い換えに注意して本文の内容・構成を捉え、学習課題に従って要旨をまとめようとしている。 主 書き手の意図を積極的に解釈し、図を用いてわかりやすく説明しようとしている。		○	○	8
	⑦経済社会と人間—主張を吟味する 具体例を提示しながら解説していく論の展開を捉え、貨幣のさまざまなあり方を考える。	⑦岩井克人が語る「無」から「有」を生む貨幣（丸山俊一） 読みを広げる	○	○	○	知 文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈している。 思 具体例を提示しながら解説していく論の展開を捉え、貨幣のさまざまなあり方を考えている。 主 自分の考えや事柄が的確に伝わるように、根拠の示し方や説明の仕方を工夫している。		○	○	8
	⑧環境と論理—主張を比較する 三つのまとまりの関係性を捉えて内容を把握し、生命科学の観点から提示される「死」について考えを深める。	⑧生と死が創るもの（柳澤桂子） 言語活動文章を読み比べ、自分の考えを意見文にまとめよう 読みを広げる	○		○	知 三つのまとまりの関係性を捉えて内容を把握し、生命科学の観点から提示される「死」について考えを深めている。 思 内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握している。 主 文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈している。		○	○	8
3 学期	⑨現代社会の課題—合意を形成する 現代社会のデモクラシーが抱える課題について理解し、具体的な問題に当てはめて考える。	⑨〈私〉時代のデモクラシー（宇野重規） 読みを広げる	○	○	○	知 内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握している。 思 目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、情報を吟味して伝えたいことを明確にしている。 主 これからのデモクラシーのあり方について、積極的に例を挙げながら自分の考えを文章にまとめようとしている。		○	○	8
	⑩生活の中の表現—実用文を読む 与えられた資料と会話文を関連づけながら、課題に即して必要な情報を読み取り、活用する。	⑩学校新聞の記事内容を検討する	○	○	○	知 与えられた資料と会話文を関連づけながら、課題に即して必要な情報を読み取り、活用している。 思 異なる形式で書かれた複数の文章を読み、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、理解したことをまとめている。 主 複数の文章から読み取った情報を粘り強く吟味し、文章の構成に注意してまとめようとしている。		○	○	6 合計 70